

国際線等旅客施設整備・運営及びプライベート機受入事業

①事業の進捗状況

国際線等旅客施設整備・運営事業（ターミナル事業）

- 2019年3月に旅客施設開業。国内線・国際線の定期便が開設され、チャーター便の受入なども実施。
- 新型コロナの影響を大きく受けたものの、旅客数は増加し、令和5年度は過去最高の約41万人。
- 令和5年7月より下地島－福岡 就航（スカイマーク）
※7月1日～8月31日のみ運航
- 令和6年5月より下地島－仁川 就航（ジンエアー）

プライベート機受入事業

- 令和5年度受入時実績42件
- 令和5年8月よりプライベートジェットターミナル工事着手

<利活用事業者>

三菱地所株式会社（東京都千代田区）
※当該法人が別途設立する法人も含む



令和5年度末時点

②事業の実績

<年間航空旅客数>

	目標	実績
○平成31年度	5.5万人	12.6万人
○令和3年度	30万人	22.2万人
○令和5年度	43万人	41.4万人

【参考(目標設定なし)】

<プライベート機受入数(※利活用事業者の取扱数)>

	目標	実績(内訳)
○平成31年度	—	10回(内航4回、外航6回)
○令和3年度	—	13回(内航13回)
○令和5年度	—	42回(内航40回、外航2回)

③事業の進捗評価

令和5年度航空旅客数

目標(A)	実績(B)	達成率(B/A)	進捗評価※
43万人	41.4万人	96.3%	順調

※90%以上：順調、75%以上90%未満：概ね順調、60%上75%未満：やや遅れ、60%未満：大幅遅れ

④今後の取組

新規路線のソウル線及び通年化を狙う福岡線の路線認知拡大・利用促進を行うとともに、羽田発着枠コンテストに向けた取組み及び既存路線の搭乗率、運航頻度向上に向けた提案、PR 活動を実施していく。将来の定期路線に繋がる国際・国内チャーター便の誘致。また、グランドハンドリング人材不足への対応強化を行っていく。

県による事業レビュー

成果目標としている旅客数においては、達成率も96.3%であり、順調に事業を実施している。また、プライベート機受入事業については令和6年4月21日に専用施設を開業している。令和6年度は新規路線の就航もあることから、今後の事業展開にも期待できる。